

平成30年度北海道大学大学院

文学研究科修士課程入学試験問題（後期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 社会人特別入試
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（ 映像・表現文化論 ） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	題Ⅰ 映像・表現文化、日本近現代文学・思想に関する基本的な知識を問う。  問題Ⅱ 映像・表現文化、または日本近現代文学・思想に関する論文を読解し、自分の意見を論述することにより、専門分野に関する理解力と表現力を問う。 (A) 日本近現代文学における夢の表象に関する問題 (B) 映画における「直接的なもの」に関する問題

平成30年度  
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（後期）  
（専門試験） 映像・表現文化論 全7枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 7枚、解答用紙 4枚を配付する。

- ・ 解答は問題Ⅰと問題Ⅱについて、別々の解答用紙に記入すること。
- ・ 問題Ⅱは、A・Bの中から一つを選んで解答すること。

---

問題Ⅰ

次の1～12の語句の中から、3つを選択し、選択番号を明記した上で、その語句について知る  
ところを記しなさい。

1. チネチッタ
2. 南方徴用作家
3. 高峰秀子
4. トラッキング・ショット
5. 『海潮音』
6. 岡崎京子
7. アンソニー・マン
8. 黒岩涙香
9. 文献学における書誌学
10. 日本近代文学と実存主義
11. カチンコ
12. 三派鼎立

問題Ⅱ A

次の文章は、坂口周『意志薄弱の文学史——日本現代文学の起源』（慶應義塾大学出版会、2016年）の一節である（一部省略箇所がある）。（1）この文章の内容を踏まえて、下線部の意味を説明しなさい（250字程度）。（2）この文章の論旨に留意しつつ、日本近代文学における夢の表象について論じなさい（1000字程度）。

**\* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。**

出典 坂口周『意志薄弱の文学史——日本現代文学の起源』慶應義塾大学出版会、2016年、  
p.218~p.222





## 問題Ⅱ B

次の文章は、箭内匡「映画の対象——映画における直接的なもの」（箭内匡編『映画的思考の冒険——生・現実・可能性』世界思想社、2006年）の一節である（一部省略および表記を改めた箇所がある）。（1）この文章を要約しなさい（250字程度）。（2）下線部について、具体的な作品を挙げて考えを述べなさい（1000字程度）。

**\* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。**

出典 箭内匡「映画の対象——映画における直接的なもの」

箭内匡編『映画的思考の冒険——生・現実・可能性』世界思想社、2006年、p.2～p.5



